

# 浄土 平泉

平成18年12月、日本国政府は「平泉 - 浄土思想を基調とする文化的景観 -」のタイトルで、ユネスコ世界遺産センターへ世界遺産登録推薦書を提出しました。

平泉文化を象徴する言葉として選ばれた「浄土」について、5回にわたって大矢郷土館長がやさしく解説します。

## 第1回「浄土思想を基調とする文化的景観」

いよいよ「世界遺産」実現の瞬間が近づいてきました。心の準備はいかがですか。世界に誇る「平泉 浄土思想を基調とする文化的景観」、その内容を、価値を、自信を持って説明できますか？ 例えば万里の長城やエジプトのピラミッドの前に立つとします。その瞬間、壮大さに圧倒され、「世界遺産だ！」と素直に納得、感動するでしょう。何の説明もいりません。

わが「平泉」はいかがでしょう。金色堂は、井上靖が「黄金の小函」とたたえたように、世界に誇る華麗な文化財です。工芸技術もデザインも超一流です。ただ、世界の目から見ればスケールの点でもの足りないかもしれません。毛越寺の浄土庭園は心安らぐ景観です。でも、目を引きつける大伽藍は残っていません。

そんな平泉がなぜ「世界遺産」になるのか？ 実はこれまでの「世界遺産」があまりにも「壮大な遺産」「石造りの遺産」に偏り過ぎており、その見直しが始まっていたのです。世界には木の文化も、土の文化もあ



われわれにとって、平泉の文化遺産の価値を説明できることが必要とされている

ります。自然景観と一体になった文化もあります。その見直しの結果、生まれた「世界遺産」の新しい項目が「文化的景観」でした。「浄土の景観・平泉」はまさにこれに該当します。

価値を理解していただいて、静かに浸っていただく。解説・説明は「平泉」の宿命なのです。

平泉郷土館長 大矢邦宣

## 平泉を掘る

柳之御所跡から出土した遺物の1つに、昭和58年度調査で発見され、三代秀衡のころに使われたと考えられる漆器があります。出土した時には、すでに木の部分は腐り、漆の塗膜片だけが残っていました。内面は赤色、外面は黒色で、共に模様はありません。

漆器の研究をされている昭和女子大学の武田昭子先生の研究室で器の推定復元を行い、今回その試作品を平泉町に寄贈されました。

復元した漆器は直径約27センチ、高さ約2.5センチで、口縁部に6つのくぼみがあり、上から見ると花びらのような形をしています。また、器の中ほどに段が、底にわずかな高台があることが分かりました。

平安時代に記された『延喜式』等の記述を考え合わせると、この器は盤と考えられ、お菓子や干物等を盛るものとして使っていたようです。

町内遺跡からの赤色の漆を使った漆器出土例は極め

### 発掘最前線⑥7

#### 一柳之御所跡出土漆器の復元

て少なく、柳之御所跡で出土した漆器の塗膜片と、今回寄贈された復元試作漆器は貴重な資料といえます。

なおこれらは、平泉郷土館で展示しています。

文化財センター 戸根貴之



▲漆塗膜片出土状況



▲復元された漆器(盤)

いずれも  
左が内面(赤漆)  
右が外面(黒漆)

# 春の

# 藤原まつり

春の藤原まつりのメイン行事、5月3日の「源義経公東下り行列」。源義経公役は俳優の木村了さん、藤原秀衡公役はフタバ産業株式会社取締役社長の小塚逸夫さん、北の方役は学生の小岩愛真さんが務めます。

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録推進の機運に乗って、県内外からのたくさんの人出が期待されています。

## 東下り行列主要役者



北の方にふんする  
学 生  
こいわ まなみ  
小岩愛真さん



藤原秀衡公にふんする  
フタバ産業株式会社  
取締役社長  
こづか いつお  
小塚逸夫さん



源義経公にふんする  
俳 優  
きむら りょう  
木村了さん

## 春の藤原まつり 行事日程

5月1日から5日まで、町内各地で多彩な行事が繰り広げられます。3日の源義経公東下り行列では、今年は出迎え行列は平泉小学校金管バンド、本行列は長島小学校合奏団が先陣を務めます。

日	時間	会場
◆五月一日(木曜日)	10時	中尊寺本堂
◆五月二日(金曜日)	10時	毛越寺本堂
◆五月三日(土曜日)	10時	町前広場
◆五月四日(日曜日)	10時	中尊寺境内
◆五月五日(月曜日)	10時	旧観自在王院庭園